

大船駅東口ペデストリアンデッキ長寿命化修繕計画



平成 2 9 年 3 月



鎌倉市

平成28年度 鎌倉市「大船駅東口ペDESTロリアンデッキ長寿命化修繕計画」について

◇目 的

大船駅東口ペDESTロリアンデッキ長寿命化修繕計画（以下「ペDESTロリアンデッキ」という。）は「道路施設維持管理共同システム」を活用して策定したものであり、予防的修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る費用を縮減し、トータルとしてペDESTロリアンデッキの維持管理費用の増大を抑制するものです。

◇管理計画

今後、増大が見込まれるペDESTロリアンデッキの修繕・架替えに要する費用を縮減する取り組みが不可欠となります。

ペDESTロリアンデッキは、橋梁やトンネルに比べて規模が小さい道路施設であり、更新費用も道路橋に比べると比較的安価ですが、更新時の工事期間中には当該道路の交通規制や交通渋滞の発生、利用者（歩行者）の迂回路や安全性の確保など、社会的影響が大きい道路施設です。

そのため、損傷が軽微なうちから計画的に補修対策を実施する『予防保全型維持管理』を基本とし、極力、長寿命化を図ります。

なお、ペDESTロリアンデッキは、周辺建物と大船駅とを接続することで歩行ネットワークの構築、歩行空間の安全性確保の役割を果たしています。しかし、ペDESTロリアンデッキ桁下は、公共交通機関の停車レーンとなっていることからコンクリート片や鉄片の落下による第三者被害を未然に防ぐ計画が重要です。

◇ペDESTロリアンデッキの点検及び計画の策定

健全度の把握については、「神奈川県市町村版定期点検要領（案）」に基づいて定期的に点検を実施し、ペDESTロリアンデッキの損傷を早期に把握します。平成27年度に点検が完了したため、長寿命化修繕計画を策定しました。

◇計 画

【修繕内容・時期】

計画策定したペDESTロリアンデッキで今後6年間で健全度3（損傷あり）以下となるペDESTロリアンデッキは、優先順位の高い施設から修繕を実施し、維持管理費用の縮減と長寿命化を図ります。

※上記の修繕については、今後、定期点検を実施していく過程で確認される損傷に応じて、優先的に補修工事を要する場合などもあり、固定されるものではありません。

【計画実施により見込まれるコスト縮減効果】※対象:ペDESTリアンデッキ

- ・長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施した場合の費用（2117年までの総費用）約 3.74 億円
- ・従来の対症療法的な修繕を実施した場合の費用（2115年までの総費用）約 5.61 億円
- ・コスト縮減効果 $5.61 \text{ 億円} - 3.74 \text{ 億円} = 1.87 \text{ 億円}$ （約 33%の縮減効果）

※上記費用はおおよそのものであり、今後、橋梁の点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

目 次

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	1
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	2
4. 対象施設の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	2
5. 対象施設ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期	3
6. 対象施設の長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針	3
7. ペDESTリアンデッキの管理方針に関する基本的な方針	3
8. 長寿命化修繕計画による効果	3
9. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	5

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

○大船駅東口ペDESTロリアンデッキは、日常パトロール等により適切な維持管理に努めてきました。しかし、大船駅東口地区市街地再開発事業（平成4年）で整備されたため、今後、老朽化による修繕や更新費用が増大することが予想されます。

○厳しい財政状況が続くなかで、合理的・効率的な手法によるペDESTロリアンデッキの維持管理が強く求められています。

○そこで、維持管理費のコスト削減や横断歩道橋を適切に管理することを目的とした「大船駅東口ペDESTロリアンデッキ長寿命化修繕計画」を策定します。

○長寿命化修繕計画の基本方針は、従来の管理手法である「事後保全」から「予防保全」へ管理手法の転換を行うとともにアセットマネージメントの手法を導入し、ペDESTロリアンデッキの効率的な管理を行いコスト削減を図ることとします。

2) 目的

○ペDESTロリアンデッキの長寿命化や維持管理費用のコスト削減を図るためには、劣化が顕在化したあとに対策を行う「事後保全の管理」ではなく、劣化の兆候がまだ現れていないか、あるいは現れ始めた時期に、予防的に修繕を行い、対策規模が大きくなることを避ける「予防保全の管理」を着実に行う必要があります。また、ペDESTロリアンデッキ桁下は、公共交通機関の停車レーンとなっていることからコンクリート片や鉄片の落下による第三者被害を未然に防ぐことも重要です。

○定量的なデータの蓄積を行ったうえで、予防保全によってペDESTロリアンデッキの長寿命化を図り、保全・更新費を低減、平準化することにより、将来にわたって、適切な機能水準を維持するための計画を策定するものです。

3) ペDESTロリアンデッキの管理について

○長寿命化修繕計画による「予防保全」を確実に実行することで、維持管理費用の削減を図ることができます。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

名称		施設数	合計
大船駅東口	大船駅東口ペDESTロリアンデッキ A	1	2
	大船駅東口ペDESTロリアンデッキ B	1	

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、ペDESTリアンデッキの特性等を十分考慮して実施するとともに、神奈川県市町村版定期点検要領（案）【横断歩道橋】に基づいて定期的の実施し、ペDESTリアンデッキの損傷を早期に把握します。

また、点検結果からペDESTリアンデッキの状態把握や評価、管理目標や修繕における優先順位を決定するために、ペDESTリアンデッキの状態を数値化で表現できる指標を要求性能別に設定し、ペDESTリアンデッキの健全度を的確に管理します。

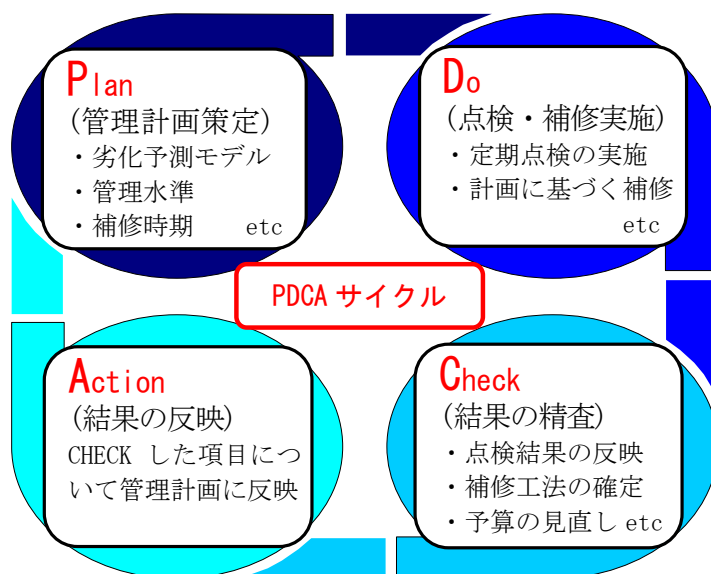
2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

ペDESTリアンデッキを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底します。

4. 対象施設及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕等に係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指します。

また、PDCAサイクルを確実に実行することで、計画的な維持管理を実施していくこととします。



※計画的な維持管理を実施するため、ペDESTリアンデッキに関する「諸元」や「点検結果」の蓄積、「補修履歴」等のデータ蓄積が必要となります。そのため、「道路施設維持管理共同システム」を活用し、ペDESTリアンデッキの点検結果や補修履歴等を蓄積し検証することにより、ペDESTリアンデッキの健全度指標値や部材の耐用年数及び劣化予測式を見直し、効率的な維持管理を実施します。

5. 対象施設の次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

ペDESTリアンデッキについては、次回の点検時期と今後6年間で対策する修繕内容については、次のとおりです。

○次回のペDESTリアンデッキ点検について

ペDESTリアンデッキは、神奈川県市町村版定期点検要領（案）【横断歩道橋】により実施します。

平成27年度に実施したペDESTリアンデッキ点検は、5年毎に近接目視による定期点検を実施することを基本とします。

○ペDESTリアンデッキの修繕内容・時期については、定期点検や道路パトロール等の結果に基づき修繕を計画します。

平成27年度に実施した点検結果で主要部材の健全度ランクが「2」以下と判定された主要部材は、計画策定後、6年以内に修繕を実施することを基本とします。また、第三者被害を及ぼす恐れのある部材は、速やかに修繕することを基本とします。

6. 対象施設の長寿命化及び修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕等に係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指します。

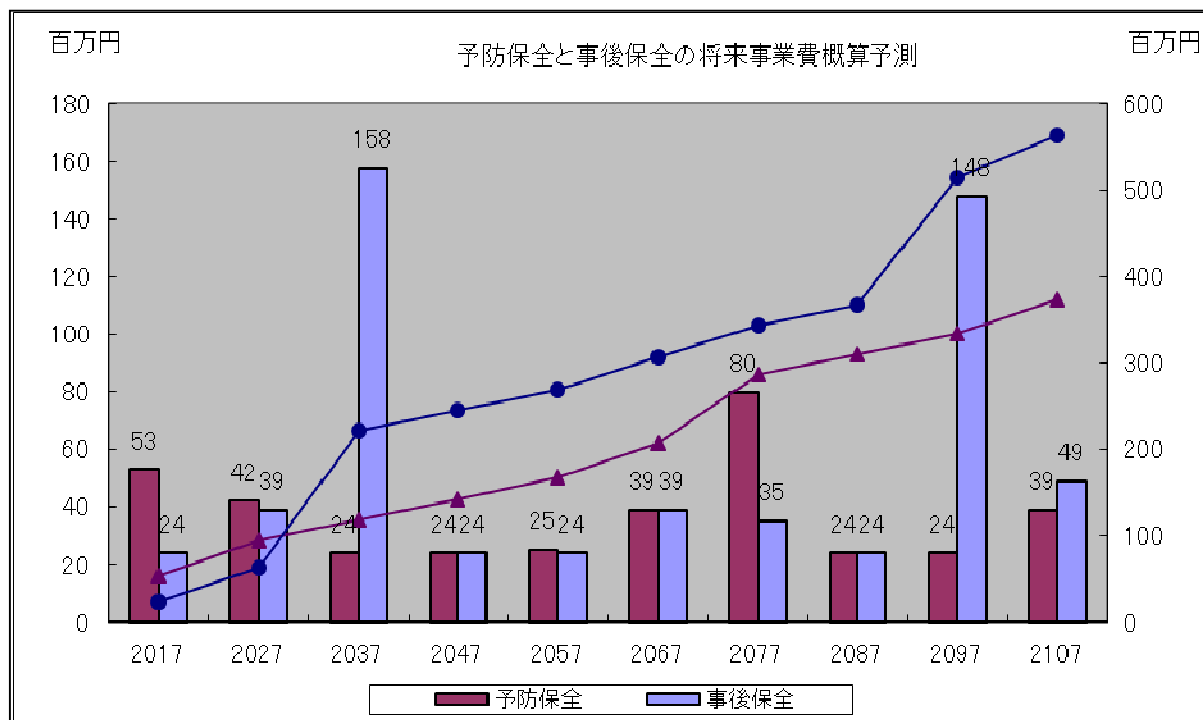
7. ペDESTリアンデッキの管理方針に関する基本的な方針

ペDESTリアンデッキは、周辺建物と大船駅とを接続することで歩行ネットワークの構築、歩行空間の安全性確保の役割を果たしています。しかし、ペDESTリアンデッキ桁下は、公共交通機関の停車レーンとなっていることからコンクリート片や鉄片の落下による第三者被害を未然に防ぐ計画が重要です。

8. 長寿命化修繕計画による効果

○修繕及び架替えに要する経費については、2117年までに5.61億円→3.74億円

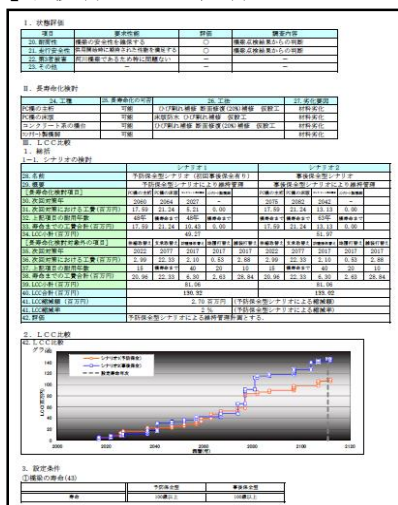
(1.87億円の縮減)となり、33%の縮減が見込まれる。



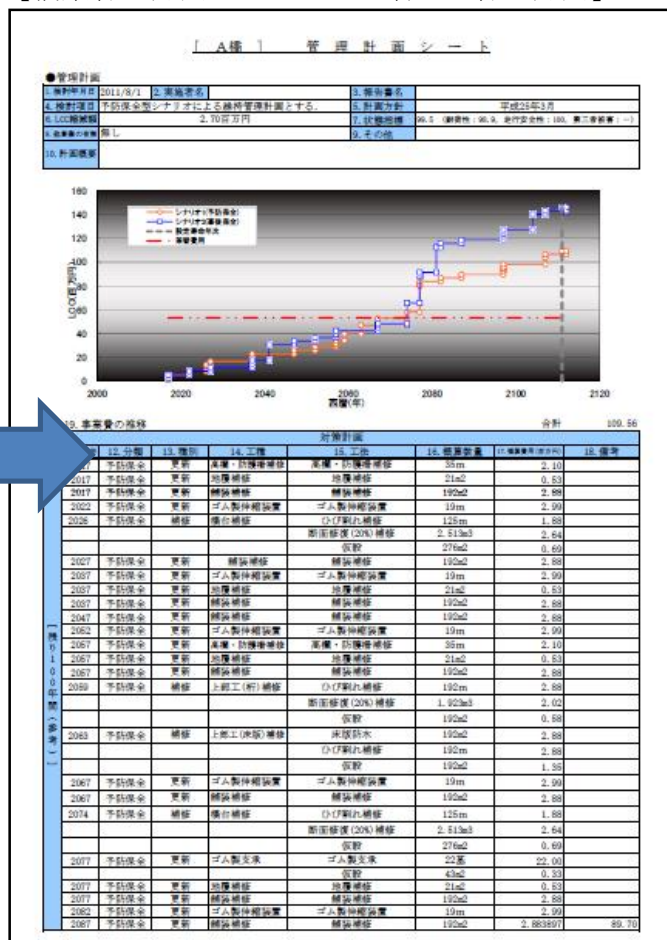
※上記経費の算出については、今後、横断歩道橋の定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

○道路施設維持共同システムによる管理計画（事後保全管理→予防保全管理への転換）

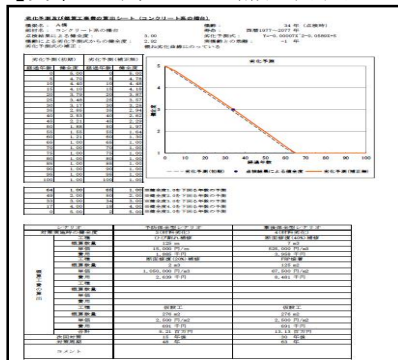
【事後保全・予防保全シナリオ】



【橋梁管理計画シートによる最適な管理計画】



【劣化予測による補修計画シート】



9. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

鎌倉市 道路課 tel : 0467-23-3000 (代表)

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

関東学院大学 理工学部

出雲 淳一教授

横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 勝地 弘 教授

今後概ね 6 年間に実施する対象橋梁及び対策の内容

NO.	名称	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新点検 年次	対策の内容
1	大船駅東口ペDESTリアンデッキA	65.9	1992	25	2015	部分的塗装塗替、落下防止ネット
2	大船駅東口ペDESTリアンデッキB	60.1	1992	25	2015	部分的塗装塗替、落下防止ネット